

小倉山通信

自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校

平成29年7月4日(火) No.15

第1回学校評議員会を開催しました。

6月27日(火)、角館中学校の第1回評議員会を開催しました。本校の今年度の評議員は次の5名の方です。

角館高等学校長	K.	様
角館小学校長	T.	様
中川小学校長	T.	様
白岩小学校長	S.	様
※所用のため欠席		
仙北市サッカー協会会長	S.	様

当日は、私から今年度の本校の学校経営について説明した後、全学級の授業を参観していただきました。その後、懇談にうつりました。その際にいただいたコメントの一部を紹介します。

■ T. 評議員

どの学年も落ち着いて学習に取り組んでいるというのが第一印象である。各学年で学校行事の振り返りの積み重ねや、自分の将来の夢や目標を意識したカードがあり、その積み重ねが学年が進むに従って成長につながっていると感じた。

■ T. 評議員

校内環境を含めて、非常に整理整頓や清掃が行き届いていると感じた。これまでそうだったが、なお一層校内環境が引き締まった感じがした。掲示物やランドセルやバッグなどの日常使う道具の整頓など、学習規律をしっかりと身に付けさせながら授業に臨んでいると感じた。

■ S. 評議員

どの授業もそうだが、先生たちがいろいろ教材を工夫されていると感じた。また、授業に飽きてるといふ生徒は見受けられず、本当に真剣にやっていると感じた。授業形態の男女の市松模様とコの字型は、グループ活動は男

女の市松模様で、全体で授業をするときはコの字型で、それぞれよく行われていた。

普段の生活で、登校する子どもたちに積極的に「おはよう！」と声をかけている。ニコッと笑って「おはようございます」と返してくれる子と、しぶしぶ応える子、ぜんぜん無視していく子がいる。朝はお年寄りも多く散歩したりしているの、中学生から積極的に声をかけてくれば、お年寄りも喜ぶのではないかと思う。

■ K. 評議員

全体を通して、先生方が一人一人を非常に丁寧に、よく見て、それぞれの特性を理解した上で、適切な言葉をかけながら、全員を同じ方向を向かせていると感じた。コの字の形が、どの方向からも一様に見られるということで、先生にも緊張感があり、先生も生徒の表情が非常によく分かるということだと思う。ただし、あのスペースを先生だけのスペースにしないで、そこに生徒を出してきて、何かをさせるとか、そういう使い方もあるのではないか。コの字の真ん中のスペースを生徒のスペースにできればよいと思った。



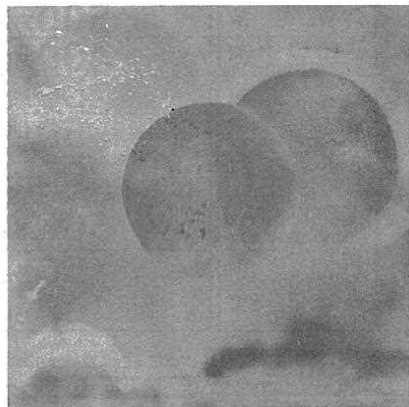
ご指摘いただいた点については、今後改善に向けた取り組みを進めていきたいと思っております。

県展入選おめでとうございます

第59回県美術展覧会の入選作が7月1日(土)の秋田さきがけ新聞の紙上で紹介されました。角館中学校からは3名の入選作が掲載されています。

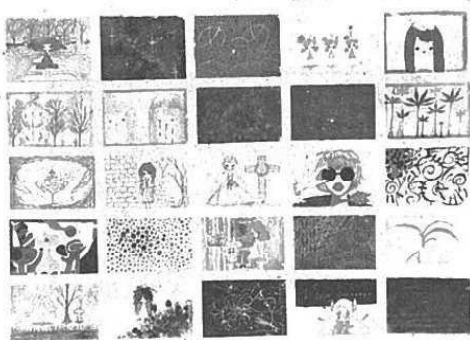
洋画部門では98点の応募作の中から48点が入選となり、3AのF.さんの「宇宙の時の流れ」が見事に入選を果たしました。

デザイン部門では、105点の応募があり、その中から42点が入選となりました。角館中学校から3BのG.さんの「描きたいもの」と、K.さんの「ホクロ」が入選しました。いずれの入選作も、豊かな感受性とみずみずしい表現力を感じさせる作品で、「芸術の町・角館」の中学生らしい、素晴らしい作品だと感じました。



「宇宙の時の流れ」

(仙北市・
角館中3年)



「描きたいもの」

(仙北市・角館中3年)



「ホクロ」

(仙北市・
角館中3年)

PTA日曜参観日においでいただき ありがとうございました。

7月2日(日)に行われたPTA日曜参観日に、おいでいただきありがとうございました。

各学年部事業もたくさんの参加をいただき、盛会裏に行われました。

～うれしいお知らせ～

★科学部が助成対象に決定しました

「齊藤憲三・山崎貞一顕彰会研究助成」に助成の応募していた科学部に、助成決定の通知が届きました。助成金の額は10万円で、この後「野菜が発芽するしくみと条件について」をテーマに研究を進めていく予定です。

★地域貢献賞の受賞が決定しました。

公益財団法人日本教育公務員弘済会秋田支部が行っている「平成29年度地域貢献賞」に応募したところ、角館中学校の桜案内人や桜の施肥活動などの地域貢献が認められ、この度、地域貢献賞を受賞することになりました。この受賞により10万円の助成金をいただくことになりました。用途については、生徒の学習に役立つものをこのあと考えていきたいと思っております。